



vol.14 こじま肛門外科

こだわり
ポイント

患者本位の日帰り手術を実践

近畿圏トップレベルの肛門手術件数を行う兵庫県明石市の肛門科専門クリニックだ。常勤医3人の手術件数は年間1200～1400件で、ほとんどが日帰り手術。その利点について小島修司院長は、「患者さんの費用面の負担を少なくでき、早期に社会復帰もできること」と話す。

これを可能にするのは、侵襲の少ない治療技術と、万全を期した術後管理体制。術後に出血などの問題が起きた時に備え、主治医の携帯番号を患者に知らせ、24時間対応する。

日帰り手術は15年前の開業時から。当時は1人医師だったが、24時間体制を10年ほど続け、5年前から当番医制を組み、今年1月には神戸市に第2クリニックも開設した。開業当初は患者さんが来ない日も珍しくはなく「これだけではとても生活できないと思った」と言うが、治療実績が口コミで評判を呼び、今年年間外来人数2万5000人。開業後に小島さんが手がけた手術は2万件に及ぶ。

「開業医は地域に根ざした信用が一番大切だと実感します。信用の源は『患者本位の治

療』。この15年間はその積み重ねでした」

医療法人の理念でもある「患者本位の治療」は診療体制の随所に現れる。例えば、医師、受付、患者のすべてを女性に限定した女性専門外来や、デリケートな部位ゆえにメンタルの問題に対応する精神科外来の開設。診察室の声を待合室に漏らさないための防音設備。これらはすべて患者の声を形にしたものだ。

今後について、「私自身は肛門疾患に特化したアグレッシブな外科医として精進したい」と語る一方、医療法人としては数年後に消化器外科医を雇用して、大腸疾患にも対応する医療機関を建設する予定だ。「小回りの利く診療所の特性を生かしながら、患者さんが納得する治療を追求し、大腸・肛門領域の治療をさらに進化させていきたいです」

クリニック データ



小島修司院長

開業：1997年
所在地：兵庫県明石市、神戸市
H P：http://www.kojimakoumongeka.jp/